



歯科診療室だより

公立みつぎ総合病院

42号

令和7年9月8日

広島県国保診療施設歯科保健研修会

この時期になると毎年広島県国保診療施設歯科保健研修会を開催します。今年は、滋賀県竜王町歯科診療所長の小島宏司先生に「むし歯予防を再考する～琵琶湖より愛をこめて～」と題して講演して頂きました。竜王町に赴任された時には非常に多くのむし歯があったとのことでしたが、滋賀県で一番むし歯を少なくするという目標を立て、今では滋賀県内で竜王町は、中学1年生のむし歯の少なさ18年連続1位という快挙を達成しているとの事でした。これは、右の写真のように日々地域での歯科保健活動を行っているという努力の賜物だとつくづく感心させられ、見習うべき多くの示唆があった研修会でした。



歯髄炎 ～その2～

下段左のレントゲン写真のように左下犬歯の冠の部分が黒く透過しています。その黒い



部分が神経まで達しています。そうすると神経を取ることになります。まず、虫歯の部分を削って全

て取り去り、根っこの先までの長さを電

氣的に測定します。上段右の写真は、神経を取る時に使う器具です。左から右に行くにしたがって太くなっています。この器具の手で持つ部分の色と太さは世界基準で決まっています。どこに行っても持つ部分の色と太さは同じものになっています。そんな器具を使って神経が入っていたところの感染部位を削って綺麗にしていきます。その後、綿に薬を付けて仮の蓋をします。症状がなくならなければ何回か同じことを繰り返します。そして、痛みなどの症状がなくなったら最後に最終的な薬を詰めて歯髄炎の治療は終了します。

文責 診療部長 占部秀徳